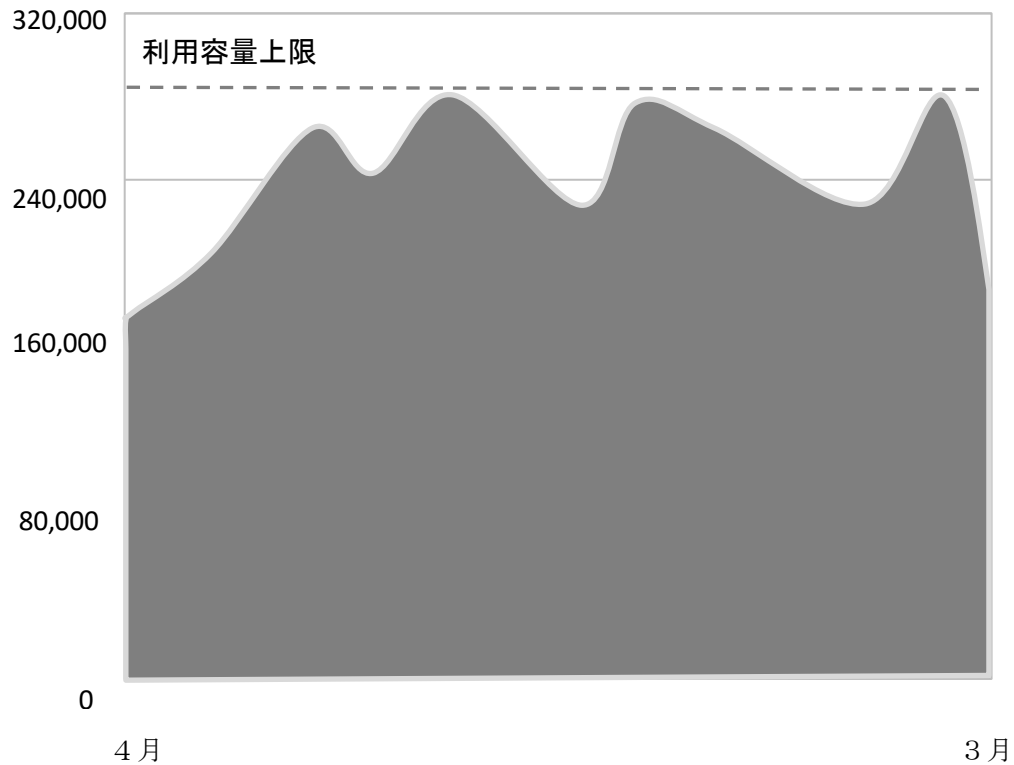


## LNG 貯蔵余力の見通し

LNG貯蔵容量(KL)



### 受入余力・受入量の算定条件

水島基地では、以下の受入となる見込みです。

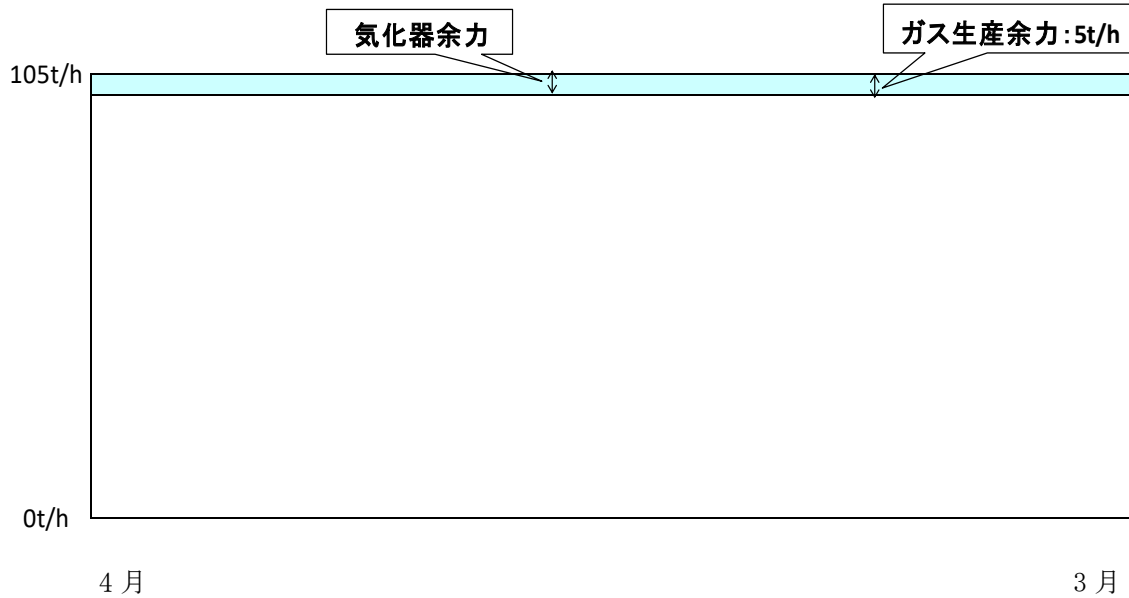
○ルームシェア方式で、33千KL（受入量ベース）

なお、本数値は以下条件に基づくものであり、LNGの受入状況、ガス需要動向、予定外設備工事等により変動いたします。

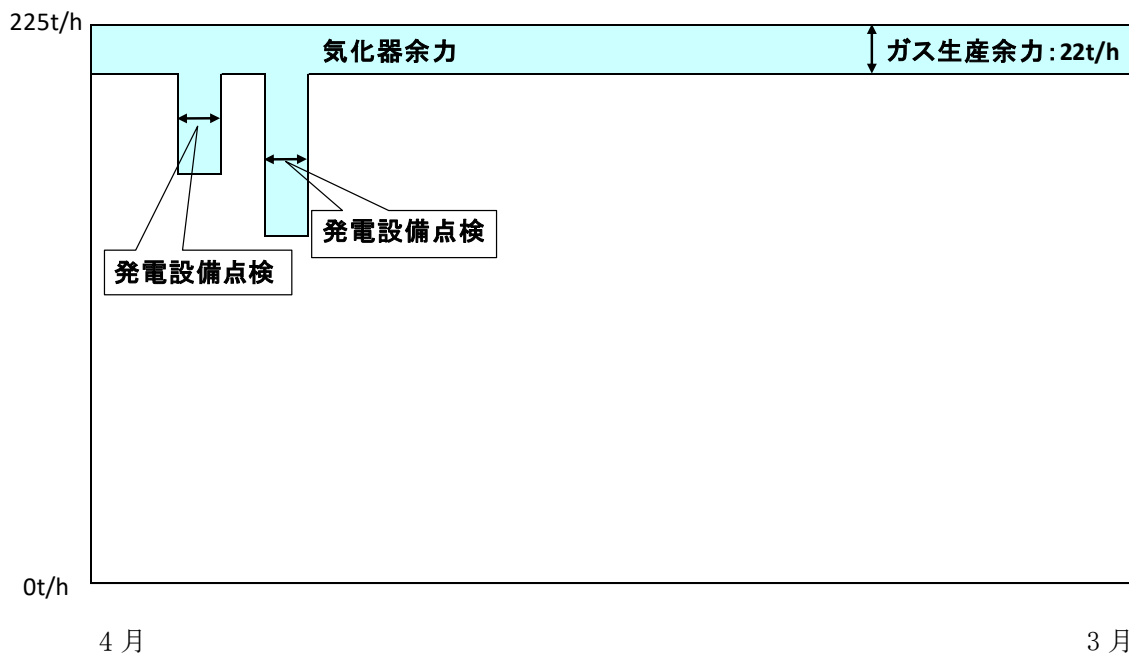
○ルームシェア方式における受入量は、入船1回あたり33千KLを、年度終了時にLNG在庫が零となるように、6カ月以内で払い出した場合の結果となります。また、高在庫が見込まれる期間は、当社からLNG貸出を行い、高在庫期間後にLNGを受入返却した場合の結果となります。

## ガスの製造余力の見通し

### 【低圧気化器】



### 【高圧気化器】



(注) 上図は当基地のLNG気化余力の見通しを示すものです。実際の気化余力は、電力(ガス)の需要動向、発電所や気化設備等の定期点検工事・設備工事等によって大きく変動いたします。

## 利用可能な船舶の種類・船型，液化ガスの種類・品質

### (1) 利用可能なLNG船の船型

| 船 型                          | 総トン数     | 載貨重量トン   | 全 長<br>(m) | 幅<br>(m) | 最大喫水   | 最大積載<br>貨物数量 |
|------------------------------|----------|----------|------------|----------|--------|--------------|
| #モス型 155,999m <sup>3</sup>   | 121,675  | 76,355   | 289.50     | 49.00    | 11.925 | 97,000       |
| モス型 177,441m <sup>3</sup>    | *141,671 | *87,257  | *300.03    | *52.00   |        |              |
| ☆モス型 155,696m <sup>3</sup>   | 136,740  | 75,837   | 288.00     | 48.94    |        |              |
| 膜ブレン型 210,197m <sup>3</sup>  | *137,535 | *122,052 | 315.00     | 50.00    | 13.621 |              |
| 膜ブレン型 216,293m <sup>3</sup>  | 136,410  | 107,169  | *315.16    | 50.00    |        |              |
| #膜ブレン型 217,591m <sup>3</sup> | 135,848  | 107,169  | 315.06     | 50.00    |        |              |

※総トン数は参考値。ただし，上記総トン数以下を配船する。

#### 【凡例】

\*：棧橋の最大値として採用する要目。型式ごとに最大値を定める。

☆：連続タンクカバー式。

#：LNG型式ごとの最大喫水を採用するもの。

(2) 利用可能と見込まれる液化ガスの種類・品質（性状）

|     |   |             |
|-----|---|-------------|
| 組成  | メタン   | 86.00 モル%以上 |
|     | ブタン以上   | 2.50 モル%以下  |
|     | ペンタン以上  | 0.25 "      |
|     | N <sub>2</sub>                                  | 1.50 "      |
| 発熱量 | 42.5～45.0 MJ/m <sup>3</sup> N                   |             |
| その他 | 固形またはその他の不純物（H <sub>2</sub> S、T-S等）及び異物を含まないこと。 |             |

(注) 受け入れることができる LNG の性状は、個別の利用条件やタンク運用実態によって異なるため、上記の数値は目安とします。

## 配船計画の策定期期の見通し

当年度分の配船計画の策定期期は概ね以下の通りです。

- ・前年度 7 月頃                      ・ ・ ・ LNG 売主との間で配船協議を開始
- ・前年度 10 月～3 月頃            ・ ・ ・ LNG 売主との間で年間配船計画を策定

(注) 上記はおおよその策定期期であり、具体的な配船計画策定期期は様々な LNG プロジェクトによって異なります。

参考：現行設備

| LNG 船バース  | 貯蔵設備                                 | 気化設備  |
|---|--------------------------------------|---|
| LNG 船バース<br>最大船型：<br>6号バース 122,052DWT<br>水深：<br>6号バース -16.00m | 貯蔵設備<br>160千kl×2基<br>合計320千kl(147千t) | 気化設備<br>105t/h×1.4MPa IFV 1基<br>75t/h×5.6MPa IFV 3基<br>75(105)t/h×5.6(1.4)MPa IFV 1基※<br>75(105)t/h×5.6(1.4)MPa SEV 1基※<br>※高低圧兼用 |